



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	270,528	32.9	11,416	9.1	11,374	0.9	7,976	1.0
2022年3月期第3四半期	203,634	18.8	10,463	66.4	11,269	76.9	7,900	69.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 10,447百万円 (24.9%) 2022年3月期第3四半期 8,362百万円 (83.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	305.76	
2022年3月期第3四半期	302.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	137,004	83,589	60.9
2022年3月期	115,797	74,420	64.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 83,417百万円 2022年3月期 74,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		24.00	46.00
2023年3月期		25.00			
2023年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	21.2	12,800	0.9	13,300	3.2	9,300	2.7	356.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	26,908,581 株	2022年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	822,860 株	2022年3月期	2,822,619 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	26,085,787 株	2022年3月期3Q	26,086,356 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかしながら、世界的なインフレや中国での新型コロナウイルス感染症拡大などにより、下振れリスクへの懸念が続いております。我が国経済においても、個人消費や企業の設備投資などは持ち直しているものの、生産活動や企業収益には弱さが見られ、物価上昇や供給面での制約などで先行き不安な状況が継続しております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで営業展開の強化と国内外の拠点活用を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、世界的な食資源の供給不安や仕入価格の上昇などにも柔軟に対処し、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高270,528百万円（前年同四半期比32.9%増）、営業利益11,416百万円（前年同四半期比9.1%増）、経常利益11,374百万円（前年同四半期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,976百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界においては、第2四半期まではデータセンター需要の好調などもあり、半導体・電子デバイス分野の生産活動は堅調に推移しましたが、第3四半期に入ると半導体不足に一服感が始まり、パソコンやスマートフォン向けの各種電子部品の需要減退などから生産活動が低下傾向となりました。一方で、世界的なインフレ加速や地政学的リスクの高まりなどから、全体的に貴金属相場は上昇しました。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物の処理受託は増加し、金製品、銀製品、白金族製品等の販売量増加に加え、全体的な貴金属相場上昇に伴う販売単価の上昇もあり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は191,198百万円（前年同四半期比33.9%増）、営業利益は9,407百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限等の解除により外食産業をはじめ持ち直しの傾向が見られましたが、原材料価格の上昇や円安進行等に伴う相次ぐ値上げ発表によって消費者の節約志向は継続し、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの食品関連事業では、水産品、畜産品、農産品の販売量は増加し、全体的に販売単価も上昇したことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、営業利益につきましては、運送費及び保管料の増加などにより、前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は79,391百万円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益は2,009百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21,206百万円増加し、137,004百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに土地・建物等の有形固定資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ12,037百万円増加し、53,414百万円となりました。これは主として買掛金及び長短借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9,169百万円増加し、83,589百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。なお、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、2022年8月22日付で自己株式の消却を行った結果、利益剰余金と自己株式がそれぞれ2,418百万円減少しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円減少し、9,833百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は4,274百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の5,281百万円の資金の増加に比べ9,556百万円減少しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は10,357百万円となりました。これは主として土地・建物等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,872百万円の支出に比べて8,484百万円の支出増加となりました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は12,222百万円となりました。これは主として長短借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の1,321百万円の資金の減少に比べ13,544百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（2022年11月10日）の業績見通しから変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,379	9,833
受取手形及び売掛金	26,104	35,176
商品及び製品	27,202	33,260
仕掛品	614	637
原材料及び貯蔵品	13,962	12,878
未収入金	1,938	2,048
その他	4,918	4,308
貸倒引当金	△45	△7
流動資産合計	86,073	98,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,633	13,927
減価償却累計額	△6,061	△6,525
建物及び構築物(純額)	6,572	7,401
機械装置及び運搬具	12,659	13,368
減価償却累計額	△9,294	△10,245
機械装置及び運搬具(純額)	3,365	3,123
土地	8,768	16,649
リース資産	1,723	1,844
減価償却累計額	△899	△1,009
リース資産(純額)	824	835
建設仮勘定	994	780
その他	1,537	1,650
減価償却累計額	△1,285	△1,423
その他(純額)	252	227
有形固定資産合計	20,777	29,017
無形固定資産		
その他	772	1,096
無形固定資産合計	772	1,096
投資その他の資産		
投資有価証券	5,484	5,708
繰延税金資産	819	247
その他	1,895	2,822
減価償却累計額	—	△2
その他(純額)	1,895	2,819
貸倒引当金	△25	△21
投資その他の資産合計	8,174	8,754
固定資産合計	29,724	38,869
資産合計	115,797	137,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,231	12,975
短期借入金	9,724	12,440
1年内返済予定の長期借入金	1,588	3,102
リース債務	302	269
未払法人税等	3,128	1,505
賞与引当金	1,012	534
未払金	1,312	923
その他	5,292	4,370
流動負債合計	33,592	36,123
固定負債		
長期借入金	4,239	13,773
リース債務	535	578
繰延税金負債	12	15
役員退職慰労引当金	742	777
執行役員退職慰労引当金	25	20
退職給付に係る負債	2,111	2,006
その他	117	119
固定負債合計	7,784	17,291
負債合計	41,377	53,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	69,940	74,219
自己株式	△3,413	△995
株主資本合計	74,095	80,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	580	546
繰延ヘッジ損益	△766	113
為替換算調整勘定	1,311	2,672
退職給付に係る調整累計額	△923	△708
その他の包括利益累計額合計	202	2,624
非支配株主持分	122	171
純資産合計	74,420	83,589
負債純資産合計	115,797	137,004

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	203,634	270,528
売上原価	180,341	244,448
売上総利益	23,292	26,080
販売費及び一般管理費	12,829	14,663
営業利益	10,463	11,416
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	29	30
投資有価証券売却益	-	40
持分法による投資利益	393	345
仕入割引	11	11
為替差益	44	-
補助金収入	326	-
その他	45	70
営業外収益合計	856	505
営業外費用		
支払利息	43	145
為替差損	-	353
その他	7	48
営業外費用合計	50	547
経常利益	11,269	11,374
特別利益		
関係会社清算益	-	88
固定資産売却益	-	40
特別利益合計	-	129
税金等調整前四半期純利益	11,269	11,503
法人税、住民税及び事業税	3,172	3,393
法人税等調整額	181	105
法人税等合計	3,354	3,498
四半期純利益	7,915	8,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,900	7,976



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	7,915	8,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△33
繰延ヘッジ損益	3	882
為替換算調整勘定	218	1,274
退職給付に係る調整額	178	226
持分法適用会社に対する持分相当額	39	92
その他の包括利益合計	447	2,442
四半期包括利益	8,362	10,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,356	10,398
非支配株主に係る四半期包括利益	5	49

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,269	11,503
減価償却費	1,585	1,694
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△122	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△493	△477
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	193	217
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30	34
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	△5
受取利息及び受取配当金	△35	△37
支払利息	43	145
持分法による投資損益 (△は益)	△393	△345
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,211	△8,613
未収入金の増減額 (△は増加)	△532	△101
棚卸資産の増減額 (△は増加)	614	△4,506
仕入債務の増減額 (△は減少)	607	1,408
未払金の増減額 (△は減少)	△565	△385
その他	1,126	96
小計	8,121	585
利息及び配当金の受取額	124	201
利息の支払額	△43	△137
法人税等の支払額	△2,920	△4,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,281	△4,274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,702	△9,567
有形固定資産の売却による収入	6	115
無形固定資産の取得による支出	△211	△513
投資有価証券の取得による支出	△21	△14
投資有価証券の売却による収入	-	57
その他	55	△434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,872	△10,357
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,173	2,670
長期借入れによる収入	-	13,500
長期借入金の返済による支出	△1,141	△2,451
配当金の支払額	△1,095	△1,278
自己株式の取得による支出	△1	0
その他	△256	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	12,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	863
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,183	△1,545
現金及び現金同等物の期首残高	8,803	11,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,987	9,833

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	142,794	60,839	203,634	—	203,634
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	57	57	△57	—
計	142,794	60,896	203,691	△57	203,634
セグメント利益	8,286	2,176	10,463	—	10,463

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	191,198	79,329	270,528	—	270,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	61	61	△61	—
計	191,198	79,391	270,590	△61	270,528
セグメント利益	9,407	2,009	11,416	—	11,416

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。